



渡辺 優子 (公明党)

### 街なかの安心駐車スペース

**質** 身体障害者用駐車スペースに妊産婦や障害者、要介護認定者などが優先して利用できるように駐車場に看板を設置するなど、街なかに安心駐車スペースを確保すべき。

**答** 身体障害者用駐車スペースは妊産婦の利用も認められており、母子健康手帳交付時にマタニティマーク等を配布し、利活用されている。妊産婦の利用については、広報等での周知を継続していくとともに、利用しやすい表示方法や、市役所を初めとする公共施設への看板設置を関係部署で検討していきたい。

### 救急医療キット配布事業

**質** 個人の医療情報や保険証のコピー、緊急連絡先などを入れた救急医療キットを配付し、救急通報時や災害時に救急隊員がキットの情報で、適切に対処できるようにすべき。

**答** 現在はひとり暮らし等高齢者に対し緊急通報装置整備等の事業を展開し、緊急時に備え緊急連絡カードの掲示をお願いしている。救急医療キットに必要な情報は22年度から行う災害時要援護者避難支援制度と共通部分があり、制度の導入とあわせて、先進事例や関係各機関の意見も参考にしながら検討していきたい。

#### その他の質問事項

- ・高齢者の施策
- ・在宅医療廃棄物



薩摩 博 (よねしろ会)

### 住宅リフォーム緊急事業等の早期周知

**質** 住宅産業は、多くの業者が参入し、地域経済や、地域活性化などに大きな効果があり、市民に早期の周知を。

**答** 3月1日からの申請受付に向け、報道機関へ情報提供をする一方、2月28日に市民と施工業者を対象に説明会を開催したほか、個別説明も行った。また、市ホームページへの掲載やパンフレット配布等によりPRに努めている。今後は市広報への掲載を予定しているほか、説明会等の要望があれば対応していきたい。

### 稲わら人工藻の普及支援を

**質** 稲わら製品は、富山湾では、「ホテルいかに」漁で、その特性を生かされ成果を上げている。全国のお海で藻場が減少しており、稲わら人工藻がうまく利用できるような普及支援を。

**答** 従来の人工藻と比べ低コストで設置可能であり、天然素材で環境にも負担が少なく、ハタハタの産卵場所として有効と思われる。秋田県漁業協同組合北部統括支所では、昨年11月末に八森沿岸に設置したが、まだ試験的な設置であり、藻場の効果は調査中である。今後、試験結果を踏まえ県漁協等と普及の推進を検討したい。

#### その他の質問事項

- ・雇用創出支援事業の創設
- ・洋梨シルバベルの特産品
- ・高齢者福祉対策



庄司 紘八 (市民の声)

### 能代市の観光対策

**質** 今や国はもろろん秋田県も観光対策に本腰を入れ始めた。それを見たとき能代市の対策はこれいいのか。専門知識を持った職員配置はできないか。

**答** 外部から専門知識を有する人材を採用することは、職員採用試験で職務等経験者の区分の中で適格者が受験した場合、採用の可能性はあるが、今回該当者はなかった。現状においては、今いる職員の中から適任者を配置し職務に関連した研修を受講させるなどしてスキルアップを図っている。

### 檜山の歴史のまちづくり

**質** 歴史や文化は史実や起源が重要である。それぞれには時代時代の背景があり、歴史を学ぶことはその時代の背景をもとに史実や起源を学ぶことだと思ふ。そのルートの確立を。

**答** 檜山地区は中世から近世にかけての文化財が良好に残り、市の歴史を語る上で不可欠な地域である。地域の歴史や文化を知ることは、市民のふるさと意識を高め、地域づくりの下地となる。したがって、市としては地域を探访しやすい見学ルートの設定に向け、関係者と協議を進めていきたいと考えている。

#### その他の質問事項

- ・能代の観光の窓口一本化を
- ・職員の人事異動の考え方
- ・歴史探訪のための環境整備は